

11月25日に『国連を支える世界子ども未来会議 in TOSHIMA』を開催しました



一般財団法人ピースコミュニケーション財団は、豊島区の小学4-6年生を対象にした「国連を支える世界子ども未来会議 in TOSHIMA」を11月25日に豊島区役所で開催しました。区内の小学生41人が「住み続けたい未来の豊島区」をテーマに、さまざまな意見やアイデアを活発に交換、約5時間にわたって将来の豊島区の姿について考えました。



子どもたちはグループに分かれてテーブルを囲み、日本電信電話株式会社上席特別研究員の渡邊淳司さん進行のもと、ディスカッションをしました。司会と審査員を務めたジャーナリストの堀潤さんや株式会

社コア・エス代表取締役で国土交通省観光庁 Visit Japan 大使の矢幡聡子さん、早稲田大学理工学術院教授の朝日透さんたちが見守る中、話し合いの進行を手助けするコミュニケーションサポーターのヒントを取り入れたりしながら、グループとしての「住み続けたい未来の豊島区」像を決定し、それを実現する具体的な案、そのために明日から始めることをまとめました。

同区の小学校では SDGs に関する学習を積極的に進めています。話し合いの内容も、ゴミをひろうといったことや、自然環境の保護、クラウドファンディングや経済面、さらには愛と友情まで発展し、「何よりも思いやりが重要で、それによって成長できる」「でも、ひとりで思いやりを持って何の意味もないよね」「だから広めることが必要だね、そのためにも発表する場所が必要だ」と、テンポのいいやりとりがあちこちで行われていました。

区役所内の議場に会場を移して行われたプレゼンテーションで「住み続けたい未来の豊島区」を実現するために必要なものとして各グループが挙げたのは、「自然と生命」「思いやり」「挑戦と思いやり」などです。「挑戦と、価値観の理解」が大事として「挑戦することによって、新しい発見があるし、相手の価値観を理解して、行動することによって、平和で、安心して暮らせる豊島区に近づく」と説明した B グループには大人はもちろん、高際みゆき区長も「いいね！」と大絶賛でした。そのために明日からできることは「失敗を恐れず、前に進むこと、謙虚になること」として、「謙虚になる」とした理由は、「WIN-WIN、お互いが得する、お互いが良い気持ちになるというのがあるんですけど、そうするために自分が負けに行ったら相手を勝たせる、謙虚になって相手を知るということが大事だと思いました」と説明しました。子どもたちから「どうしたら失敗を恐れずにできるのか？」といった質問が上がると、「ひとりで怖いと悩むのではなくて、周りの人に相談してみたりすると自分が思っていたよりいいアドバイスや、考えられなかったことが返ってくるかもしれない」という答えでした。

各グループの提案は審査員と子どもたちによって審査され、最優秀賞は E グループでした。

豊島区にとって「価値観の理解と挑戦」が大事とし、「自分から価値観の理解に挑戦することでより深い関係を築くことができ、理解して認め合うことで住みやすく居心地の良い街になる」と説明しました。そのためにも、誰もが自分の思いを言葉にして伝えていくべきとし「だれでもディベート」をすることを提案しました。世代が異なる人、国籍が異なる人などバックグラウンドの異なる人と意見を交換するというもので、「話題は、たけのこの里とこの山、どっちが好きかとかそういうことでいいんです」とアピールすると、会場のあちこちから拍手と笑い声が上がりました。

E グループには、2024 年 3 月に開催される第 4 回国連を支える世界こども未来会議への参加権と副賞が贈られました。



Eグループに感想を聞くと、「賞をもらってうれしいし、初めて会った友達ともうまくやれたので良かったです」「賞をもらえるとっていなかったもので、グループの名前を呼ばれたときは、本当にうれしかったです。みんなでテーマを決める時、いろいろジャンルに分けてどれが一番いいか決めていったのが一緒に残っています」「いろいろな話しをしている意見もらって優秀賞をもらってうれしかったです。みんな絵がうまくてびっくりしました」「グループでディスカッションをしている時に出てきた意見で、優秀賞を取れてうれしかったです」と喜んでいました。

この日は、本会議に先駆けて、実施したSDGs アイデアコンテストの表彰も行われ、野村倫花さんがグランプリを受賞しました。空き家をアニメのグッズショップなどにして、そのショップを回るスタンプラリーを開催し、若者や観光客の健康増進や地域交流の場にするというアイデアです。豊島区の課題である空き家問題をよく勉強した上で、豊島区ならではの漫画・アニメが特性を出したアイデアを考えていました。野村さんは「SDGsの取り組みとか興味があって新聞やテレビでよく見ているので、こういう形で発表できてうれしかったです」と語りました。

◆国連を支える世界子ども未来会議 in TOSHIMA 開催概要

【イベントタイトル】国連を支える世界子ども未来会議 in TOSHIMA

【開催日時】2023年11月25日（土）

【開催場所】豊島区役所 8F 議場 1階会議室

【審査員】一木広治（一般財団法人ピースコミュニケーション財団代表理事）／堀潤（ジャーナリスト）／

矢幡聡子（株式会社コア・エス代表取締役、国土交通省観光庁 Visit Japan 大使）／

朝日透（早稲田大学理工学術院教授）／高際みゆき（豊島区長）／金子智雄（同区教育長）／

【主催】豊島区／一般財団法人ピースコミュニケーション財団

【協力】早稲田大学グローバル科学知融合研究所／

大阪大学大学院国際公共政策研究科 ESG インテグレーション研究教育センター

【事業賛同パートナー】日本電信電話会社

【後援】子ども家庭庁／外務省／内閣官房国際博覧会推進本部／東京都